



連載 本市は国際認証制度であるセーフコミュニティ認証を取得しました。

セーフコミュニティいすみおおつ



第
38
回

子どもの安全対策委員会の活動

子どもの安全の課題



「交通事故が多い」「一般負傷（転倒・転落）が多い」
「スマホによるトラブルが多い」

課題解決のための具体的な取り組み

- ①交通安全「子ども安全マップ」を活用した啓発
- ②家庭でのけが予防啓発カレンダーの作製
- ③「スマホサミット」の開催

① 交通安全「子ども安全マップ」を活用した啓発

見通しの悪い場所や交通量の多い道路といった注意すべきところを周知するために、「子ども安全マップ」を小学生に配布し、交通安全の啓発を行っています。

地域の危険箇所について、小・中学生の保護者へのアンケートを基に小学生と一緒に現地調査を行い、小学校区ごとに安全マップを作製しました。

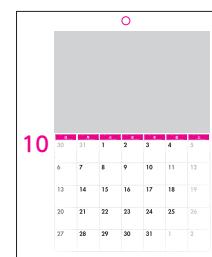
交通事故を未然に防ぐため、道路横断時の左右確認、飛び出しに注意するなど、交通ルールを守りましょう！



② 家庭でのけが予防啓発カレンダーの作製

屋内での転倒・転落によるケガが多いことから、家庭内の危険箇所を記したけが予防啓発カレンダーを作製することとなりました。

作製は、同じ課題のあった高齢者の安全対策委員会と一緒に取り組むこととなり、合同会議を開催して記載内容を話し合うなど作製に向けて進められています。



③ 「スマホサミット」の開催

スマートフォンの所有率が年々増加するなか、誹謗中傷などのトラブルを未然に防ぐため、昨年、市内の小・中学生が地域の高校生から正しい使い方を学び、話し合う「スマホサミット」を開催しました。今後も内容を工夫しての開催を現在検討しています。

